

B. O. F

Bonds Of Friendshipの略
(ボンズ オブ フレンドシップ 友情の絆)

若者らがまちづくりを熱く語る



「B. O. F」との意見交換会

10月9日、議員全員が参加して若手まちおこしグループとして活躍している「B.O.F」の皆さん（9名）と意見交換会を開催しました。

意見交換会は、堅苦しくならないよう車座になって行われました。自己紹介の後、工藤聖会長（会員17名）から発会や活動状況等の報告があり、「若者もイベントやボランティア活動等を通じて何かができるのではないかと、4年前に結成した。今後は、音と食のイベントの開催を目標にして、町や地域の活性化につながるような活動をしていきたい。」と若者らしい夢や希望について熱く語っていました。

B.O.Fの皆さんからは、「若者の選挙離れが進む中、選挙で投票していない人もいる。どのような思いや理想考えを持って議員になったのか。」という質問がありました。

議員からは、「一次産業を衰退させたくない。財政を立て直したかった。地域の声を届けたかった。」と、出馬当時のことを想い起していました。

また、岩館議長は、「合併せず、行政・議会・町民が一体となって財政再建に取り組んだ。町を良くしたいという思いは皆同じだ。」と話していました。

研修報告

新幹線札幌延伸 道南は大チャンス

10月8日、渡島管内市町議会議員研修会が北斗市で開かれ7名の議員が参加しました。研修会では、日本銀行函館支店長の中川 忍氏が、「アベノミクスの下での道南経済と成長戦略」と題して講演。「日本経済は緩やかに回復しつつあり、このまま新幹線が札幌まで延伸すれば、道南が通勤圏となる。都会には田舎に住みたいという人が大勢おり、住宅建設も進む。」と持論を展開。

また、時事通信解説委員の明石和康氏が、「歴史的転換期の世界と日本＝リーダーシップの時代」と題して講演。「日本経済は成長に向けて動き始めている。やるべきことをやるのがリーダーであり、欧州はいまの日本を見本にしようとしている。」と説明。みなさん、熱心に耳を傾けていました。



議会広報 編集は住民目線で

北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が8月20日に札幌市で開催され、新井田副委員長、福嶋委員、吉田委員の3名が参加しました。

研修会には、全道各地から105町村、462名が参加して行われ、広報コンサルタントの深沢 徹氏が「議会広報に求められるものは？」と題して講演。「ありのままの審議内容を公開する。読者の視点に立った編集が必要で、誰にもわかりやすく読む気になる広報づくりが必要。」と説明。

また、全道12町から出された議会広報を題材にクリニックが行われ、問題点や改善点について指導を受けました。木古内町議会は2年続けてクリニックを受け、高い評価をいただきました。

